
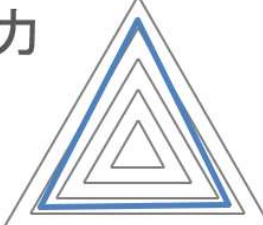



1 さぬき力（非認知能力）に関する子供(35名)の実態

授業づくりの重点項目		
<p style="text-align: center;">さ力</p> <p style="text-align: center;">社交性</p>  <p style="display: flex; justify-content: space-between;">思いやり協調性</p> <p>「社交性」の自覚度が高く、グループ活動においても、活発に話し合う姿が見られる。伝わりやすい話し方や相手のことを考えた聞き方を意識して話し合う経験を繰り返し、そのスキルを高めている。自分の意見を主張することが好きな子供がいる一方で、自信のなさなどから、みんなの前で発言することに抵抗感を感じていたり、安易に他者の考えに同調したりする様子も見られる。</p>	<p style="text-align: center;">ぬ力</p> <p style="text-align: center;">目標への情熱</p>  <p style="display: flex; justify-content: space-between;">粘り強さ忍耐力</p> <p>自分や学級の目標を達成しようとして努力していると考えている子供が多い。その一方で、自分から進んで取り組むことに苦手意識をもち、誰かに指示されたり、友達に合わせたりして、活動が受け身になっている子供もいる。また、学級会などで、意見が分かれた際には、様々なアイデアを出し合い、粘り強く話し合おうとする子供がいる一方で、安易にじゃんけんや多数決で決めようとする姿も見られる。</p>	<p style="text-align: center;">き力</p> <p style="text-align: center;">自分を信じる力</p>  <p style="display: flex; justify-content: space-between;">回復力自制心</p> <p>多くの子供が自信をもち、嫌なことがあっても自分の気持ちを切り替えながら、前向きに行動することができている。しかし、自分には得意なことがあると自信をもつことができている一方で、今の自分をあまり好きではないと感じている子供が9名いる。また、心配に思っていることでも、最後にはなんとかできると思っていない子供が8名おり、楽観的に物事を捉えることに難しさを感じている。</p>

2 教科等に関する子供の実態

- ・みんなと話し合うことは好き（26名）、どちらかと言えば好き（8名）、どちらかと言えば嫌い（1名）
- ・話し合うときに、自分の考えを言っている（14名）、どちらかと言えば言っている（14名）、どちらかと言えば言っていない（5名）、言っていない（2名）
- ・話し合うときに、友達の考えを聞いている（26名）、どちらかと言えば聞いている（8名）、どちらかと言えば聞いていない（1名）

多くの子供が係活動に興味をもち、みんなが楽しく過ごせる学級になるようにと係活動に取り組んでいる。しかしながら、今の係をしていて、「みんなが行きたいにこにこたすけるクラス」に近づいているかについて、20名の子供が否定的に答えており、それぞれの係において、活動が停滞していたり、具体的な取組の工夫を見いだすことができていなかったりする。

3 個別支援が必要な子供の実態

A児…発想が豊かで、自分の考えをみんなの前でも臆せず伝えることができるが、みんなで話している内容に注意し続けることが難しいため、何を話し合っているかが分からなくなってしまう。

第2学年西組 学級活動（1）学習指導案

「係のお困りすっきり解決 目指せにこにこ助けるクラス」

学習指導者 好井 佑馬



1 本学級会で目指す『自ら伸び続ける子供』の姿

【授業の詳細】

本学級の子供たちは、学級目標の「みんなが行きたい、にこにこ助けるクラス」をつくるために、自治的活動として、係活動に取り組んでいる。最近の係活動の様子について振り返り、「みんなが楽しめて、みんなの役に立つ係活動の取組ができていない」という問題意識をもった子供たちは、問題を解決するための方法を話し合って実践し、実践したことを振り返って、新たな問題を見いだすといった過程を繰り返して、学級目標を達成できるように係活動を充実させていく。本学級会では、そうした問題意識から、「係活動のみんなのお困りを解決しよう」という議題を設定し、「クラスのみんなの役に立てるように、意見を集める箱を作っているけど、意見を入れてもらえない」「もっと楽しく、役に立つ活動のアイデアがほしい」「係のみんなで話し合えていない」といった、いくつかの係に共通する問題について、自分や他の係の解決方法を話し合う。例えば、「もっとみんなに楽しんでもらったり、役に立てたりする活動のアイデアがほしい」という友達が困っていることについて、相手の立場に立って、「もっとイベントをする日を増やすといいよ」「イベントをするなら、僕が〇〇係だったら、クイズをしたいな」などと、多様な解決方法を出し合う。その後、それらを基に、それぞれの係で「毎日、クイズをやろうよ」「毎日は大変だよ。1週間に1回がいいよ」「それだと、あまり楽しんでもらえないよ」「だったら、1週間に3回にしたらどうかな」「それなら、できそうだね。みんなが楽しめる〇〇クイズをつくろう」などと話し合い、解決方法を決めていく。そして、実践したことを振り返り、学級会で出された解決方法を基に工夫することで、係活動が充実し、よりよいクラスになったことを実感した子供たちは、みんなで話し合う価値を感じて、生活上の様々な問題についてもみんなで話し合い、自分たちの力で解決していこうとするだろう。

2 本学級会前後の計画と働きかけの概要

	本学級会前後の計画	本学級会における働きかけ
事前	<p>○朝の会で、それぞれの係活動で困っていることを共有し、みんなで困っていることを解決して、より学級目標に近付ける係活動にしたいという問題意識をもち、学級会で解決方法を話し合うという計画を立て、議題を設定する。</p> <p>○計画委員会で、話し合いの目的や進め方、役割分担を決める。</p> <p>○朝の会で、学級会での自分の目当てや自分や他の係の困っていることについての解決方法をワークシートに書く。</p>	<p>見通し 情【話し合うのはなぜかなタイム】</p> <p>議題と提案理由について確認し、話し合う意義を感じられるようにする。㊟話し合う理由を発表したり、その理由に納得したりしている姿を即時的に教師が称賛する。</p> <p>行動 思・協【アイデアプレゼントタイム】【決め方パターン】</p> <p>他の係の困っていることの解決方法を考える場を設定し、自分が相手を助ける立場であることを明確にしたり、「自分が〇〇係だったら」という話型を活用したりしながら、相手の立場に立って話し合えるようにする。㊟教師が即時的に、友達の問題を解決するために意欲的に発言する姿を称賛し、その行動が他の係のためになっていることを伝える。</p>
学級会	<p>係活動のみんなのお困りを解決しよう</p> <p>○係活動について困っていることの解決方法を話し合う。その後、係ごとに、自分たちができる改善点について話し合い、合意形成を行う。</p>	<p>係活動ごとに合意形成を図る際に、これまでの学級会等で用いてきたみんなが納得できる決め方を示し、参考にできるようにする。㊟振り返り場面において、みんなが納得する合意形成によって、よりよい方法が決まったことを教師が伝える。</p>
事後	<p>○それぞれの係で決めた方法を実践する。</p> <p>○定期的に学級活動や帰りの会などで、実践の成果ともっとしたいことを振り返り、成果を実感して自信をもったり、新たな課題を見付けて解決に向かったりする。</p>	<p>振り返り 信【自分もあなたもいいねタイム】</p> <p>自分の学級会への参加の仕方や話し合いの納得度を振り返る時間を設ける。㊟振り返り場面において、友達のよかったことを伝える場を設け、話し合う姿勢を友達から称賛する。また、話し合う目的を達成できるよう話し合いに参加していた過程や実践する意欲をもっていることを教師が称賛する。</p>

3 本時の学習

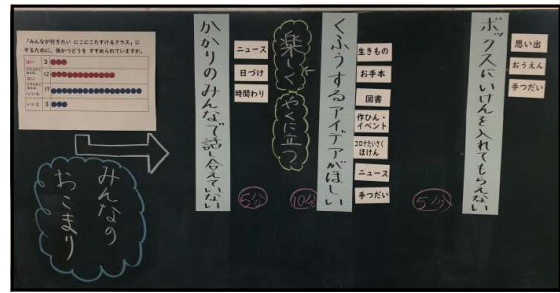
目 標	係活動についてのみんなの困っていることを解決するために、相手のことを考えながら話し合い、その後、係活動ごとに話し合っ、これから活動していくことを決め、協力して実践していくとする意欲を高めることができる。
--------	---

学習活動と働きかけ		主な子供の意識											
見 通 し	1 議題，提案理由などを確認する。 【目標への情熱】 【話し合うのはなぜかなタイム】	<p>今日，話し合うことは係の三つの困っていることを解決する方法だよ。</p> <p>みんなで話し合えば，いろんな考えが聞けて，お困りを解決できるよ。</p> <p>みんなのお困りを解決できれば，係活動がもっと楽しくなったり，みんなの役に立てたりして，「みんなが行きたいにここを助けるクラス」になるよ。</p> <p>他の係のことを考えて，いろいろな意見を考えよう。</p>											
行 動	2 困っていることの解決方法を出し合う。 【思いやり】 【アイデアプレゼントタイム】	<p style="text-align: center;">係のみんなのお困りを解決しよう</p> <p>「箱に意見を入れてもらえない」についての解決方法をどんどん発表しよう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">自分が〇〇係だったら，箱を大きくするな。</td> <td style="width: 25%;">どんなことを書けばいいか見本をつくったらいいよ。</td> <td style="width: 25%;">書かなくてもいいように，インタビューするといいよ。</td> <td style="width: 25%;">箱に飾りをつけて，目立たせるのはどうかな。</td> </tr> </table> <p>「もっと楽しく，役に立つ活動の工夫」の解決方法をどんどん発表しよう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">自分が〇〇係だったらクイズを出してみるよ。</td> <td style="width: 25%;">ビデオで撮影して，みんなに見せたらどうかな。</td> <td style="width: 25%;">自分が〇〇係だったら，イベントを試してみたいな。</td> <td style="width: 25%;">プレゼントを用意したら楽しんでもらえるよ。</td> </tr> </table> <p>「係のみんなで話し合えていない」の解決方法についてどんどん発表しよう。</p> <p>いろいろな解決方法が見つかったね。</p>				自分が〇〇係だったら，箱を大きくするな。	どんなことを書けばいいか見本をつくったらいいよ。	書かなくてもいいように，インタビューするといいよ。	箱に飾りをつけて，目立たせるのはどうかな。	自分が〇〇係だったらクイズを出してみるよ。	ビデオで撮影して，みんなに見せたらどうかな。	自分が〇〇係だったら，イベントを試してみたいな。	プレゼントを用意したら楽しんでもらえるよ。
自分が〇〇係だったら，箱を大きくするな。	どんなことを書けばいいか見本をつくったらいいよ。	書かなくてもいいように，インタビューするといいよ。	箱に飾りをつけて，目立たせるのはどうかな。										
自分が〇〇係だったらクイズを出してみるよ。	ビデオで撮影して，みんなに見せたらどうかな。	自分が〇〇係だったら，イベントを試してみたいな。	プレゼントを用意したら楽しんでもらえるよ。										
振 り 返 り	3 係ごとにこれから行っていく解決方法を話し合っ決めて。 【協調性】 【決め方パターン】	<p>次は，自分の係で何をしていくかを話し合っ決めてよう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">僕たちの係は，健康観察以外にできることはあるかな。</td> <td style="width: 50%;">私たちの係は，ボックスに手紙を入れてもらえるようにしたいね。</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">健康クイズで，楽しく学べるよ。</td> <td style="width: 25%;">プレゼントを渡すようにしよう。</td> <td style="width: 25%;">ボックスを作り替えてみようよ。</td> <td style="width: 25%;">聞きに行くこともしようよ。</td> </tr> </table> <p>じゃあ，まずは，クイズで手洗いの大切さを伝えてから，手洗いをしている人にプレゼントを渡そうよ。</p> <p>じゃあ，ボックスを作り替える人と困っていることを聞きに行く人に分かれてやってみよう。</p> <p>これから，決まったことをどんどんやっしていこう。早く活動したいね。</p>				僕たちの係は，健康観察以外にできることはあるかな。	私たちの係は，ボックスに手紙を入れてもらえるようにしたいね。	健康クイズで，楽しく学べるよ。	プレゼントを渡すようにしよう。	ボックスを作り替えてみようよ。	聞きに行くこともしようよ。		
僕たちの係は，健康観察以外にできることはあるかな。	私たちの係は，ボックスに手紙を入れてもらえるようにしたいね。												
健康クイズで，楽しく学べるよ。	プレゼントを渡すようにしよう。	ボックスを作り替えてみようよ。	聞きに行くこともしようよ。										
評 価	4 自分や友達の話し合いの仕方を振り返る。 【自分を信じる力】 【自分もあなたもイイねタイム】	<p>他の係のことを考えて意見を伝えられたよ。</p> <p>発表はできなかったけど，相手の目を見ながら，話をしっかり聞いたよ。</p> <p>〇〇さんがよく聞いてくれていて，話しやすかったよ。</p> <p>〇〇さんは，たくさん意見を言っていたよ。順番にする考えがよかったよ。</p> <p>みんなで話し合っのおかげで，係活動のお困りが解決できたよ。決まったことを早速始めていこう。</p>											
<p>他の係活動の困っていることを解決する方法を二つ以上考え，その後，係活動のメンバーで合意形成をして，これから取り組む内容を決めている。そして，話し合うよさを感じている。</p> <p style="text-align: right;">【方法：発言・様相・ワークシート】</p>													

働きかけの詳細資料

～見通し～ **学習活動1** 情【話し合うのはなぜかなタイム】

みんなのお困りボード（学級アンケートの結果や係の困っていることが示された補助黒板）を司会が指して、議題と提案理由を確認した上で、話し合う理由を全員に聞き、話し合う目的を確かめる。そうすることで、他の係のお困りを解決しようとみんなで話し合うことによつて、係活動がより充実し、学級目標の達成に近付けるといふ、話し合う意義を感じて、意欲的に学級会に臨めるようにする。その後、話し合う理由を発表したり、提案理由に納得したりしている姿を教師が称賛し、話し合う意欲を高めていることを価値付ける。



【みんなのお困りボード】

～行 動～ **学習活動2** 思【アイデアプレゼントタイム】 **学習活動3** 協【決め方パターン】

計画委員会でまとめられた、複数の係に共通する、係で困っている三つのことについての解決方法を話し合っていく。他の係の解決方法を考える際には、「お助けマン」として、赤帽を被り、他の係のために解決方法を考える立場を明確にしたり、「自分が〇〇係だったら」という話型を用いたりしながら、相手の立場を考えて、話し合えるようにする。自分の係の問題ではないことについても、進んで考えることができる場を設けることで、他者のことを自分事として考える態度の表出を促すことができるだろう。また、解決方法が出された係の名札を貼ることで、すべての係の解決方法が話し合われるように司会が配慮できるようにする。そして、友達のことを自分事として考えている姿を教師が称賛し、その行動が、他の係の役に立っていることを伝えることで、相手のことを思って行動することのよさを子供たちに実感させる。

合体 A+B→C	じゅんぼん ①B②A	りゆうに なつとくし で、ゆずる	少しずつ ぜんぶ
			どうしても きまらなければ 多数けつ

【決め方パターン】

その後、話し合っ出された複数の方法を基に、係ごとに自分たちの問題を解決する方法を話し合っ決めていく。なお、一人で行っている係は、他の係の友達と話し合えるようにする。係ごとに話し合う前に、これまでの学級会などで用いてきた合意形成の仕方（決め方パターン）を示して、「順番に行く」など、係の全員が納得できる合意形成を目指すように助言する。そして、振り返り場面において、みんなが納得できるように話し合っことで、よりよい解決方法を見付けることができたことを教師が伝え、「協調性」を発揮して取り組めたことの自覚を促す。学習活動2、3において、何を話しているかが分からなくなるために、話し合いに参加しにくいA児には、今、話し合っていることが何かを問いかけて確認し、自分の考えをもてるように支援する。そうすることで、自分の意見を臆せず言うことができる気質を生かして、よりよい方法を提案し、話し合いに参加することができるだろう。

～振り返り～ **学習活動4** 信【自分もあなたもイイねタイム】

「決まったことの納得度」「自分のめあては達成できたか」「自分の考えはもてたか、伝えられたか」「友達の考えをまるごと（全部繰り返して言えるように）聞けたか」について、ワークシートに三段階で自己評価を書き、学級会への自分の参加の仕方を振り返る場を設ける。その後、ペアの友達から、発表の様子や聞き方についてよかったところを付箋に書いて伝えてもらう場を設定することで、自分のよかったところを自覚し、自信を高められるようにする。自己評価が低い場合には、友達から肯定的な言葉をもったり、できていたことを教師が伝えたりして、自分で気付いていない頑張りを自覚させ、教師が次の学級会ではどうしたいかを問い、次に頑張りたいことに目を向けさせることで、自信を損なわないようにする。

自分もあなたもイイね！	自分もあなたもイイね！	自分もあなたもイイね！	自分もあなたもイイね！	自分もあなたもイイね！	自分もあなたもイイね！
自分もあなたもイイね！	自分もあなたもイイね！	自分もあなたもイイね！	自分もあなたもイイね！	自分もあなたもイイね！	自分もあなたもイイね！
自分もあなたもイイね！	自分もあなたもイイね！	自分もあなたもイイね！	自分もあなたもイイね！	自分もあなたもイイね！	自分もあなたもイイね！

【話し合いワークシートの一部】

また、提案理由を振り返りながら、みんなが進んで話し合っことで、困っていたことを解決できた姿、これから行っっていくことへの意欲を高めている姿を称賛する。

